

バンダイナムコグループのCSRマネジメント

バンダイナムコグループでは、特に重点的に取り組む必要があるテーマを「バンダイナムコグループのCSR重要項目」とし、さらにSBU（戦略ビジネスユニット）の活動レベルに落とし込んだ「CSR重点取り組みテーマ」を策定して、各事業特性を活かした活動を行っています。

→ 各SBUにおける重点取り組みテーマの詳細は23ページ以降をご覧ください。

バンダイナムコグループのCSR方針

ミッション

“Dreams, Fun and Inspiration”
「夢・遊び・感動」

CSRコンセプト

Fun For the Future!

楽しみながら、楽しい未来へ。

CSRへの取り組み

- ① 環境・社会貢献的責任
- ② 経済的責任
- ③ 法的・倫理的責任

コンプライアンス憲章

「適正な商品サービス・公正な取引、社員尊重、情報開示、知的財産の尊重・活用、情報・財産の保全、反社会的勢力の拒絶、環境との調和、社会との調和」に関する原則。

バンダイナムコグループCSR重要項目

- ① 商品・サービスの安全と衛生
- ② 環境配慮
- ③ コンテンツや商品の表現における社会への影響とポリシー
- ④ サプライチェーン管理

各SBU・関連事業会社で、重点取り組みテーマを掲げ、事業を通してグループCSR重要項目の深掘りを行う。

バンダイナムコグループのCSR推進体制

バンダイナムコホールディングスおよび各SBU主幹会社の社長とCSR担当役員らでグループCSR委員会を構成し、スピード感を持って決断することで、事業と一体となるCSR体制を推進しています。

CSRに関する事項の決議・報告

バンダイナムコホールディングス 取締役会 (適宜)

報告事項・検討事項

グループCSR委員会 (半期)

グループCSR部会 (四半期)

各SBUのCSRプロジェクト

グループリスクコンプライアンス委員会 (適宜)

バンダイナムコグループのCSR重要項目

①

商品・サービスの安全と衛生

私たちがお届けする「夢・遊び・感動」の基盤となる商品・サービスの安全と衛生の向上について、最優先に努めています。

②

環境配慮

「夢・遊び・感動」を次の時代につなげるために、地球環境に配慮し、企業活動におけるエネルギー削減や商品・サービスにおける省資源化に努めています。

③

コンテンツや商品の表現における社会への影響とポリシー

世界中の人々へ「夢・遊び・感動」をお届けするため、「表現の自由」の尊重とともに、多様なコンテンツや商品を適切にお客様にお届けするよう努めています。

④

サプライチェーン管理

私たちがお届けする「夢・遊び・感動」の質的向上のために、それぞれの事業に対応したサプライチェーンの管理向上に努めています。

各SBUの重点取り組みテーマ 2015年度進捗報告

CSR重要項目 ① 商品・サービスの安全と衛生

SBU	重点取り組みテーマ	進捗状況	2015年度活動報告
トイホビー SBU	安全・安心への取り組み		<ul style="list-style-type: none"> + SBU横断のグループ情報交換会を毎月実施し、情報共有により全体の取り組み向上を図る。 + プロダクトセーフティフォーラムとして、製品安全を考える展示会と製品事故対応研修を実施。 + オンデマンド配信とワークショップを組み合わせた、協力メーカーとの勉強会を6回開催。 + ハンダイ品質基準の見直しを適時実施し、改訂を年2回実施。 + 玩具安全基準 (ST2012) の改訂も取り入れ、品質基準審議会を11回開催。
ネットワークエンターテインメント SBU (コンテンツ)	安全・安心なモノづくりの推進		<ul style="list-style-type: none"> + 不具合事例や最新法規制等の情報共有を目的に「製品安全と品質向上を考える展示会」を開催。あわせて社内外講師による品質関連セミナーを実施。 + 欧州をはじめとした国内外の化学物質関連法規制の厳格化に伴い、BNEグリーン調達基準を見直し、改訂を年1回実施。 + 製品の安全性、耐久性等を定めた品質基準の見直しを適時実施し、改訂を年2回実施。 + 業務用ゲーム機の安全性確保を目的に、試作機を対象としたSR (セーフティレビュー) や事前テスト設置等による製品検証を実施。

CSR重要項目 ① 商品・サービスの安全と衛生

SBU	重点取り組みテーマ	進捗状況	2015年度活動報告
ネットワークエンターテインメントSBU (アミューズメント施設)	安全・安心な施設づくり		<ul style="list-style-type: none"> + 「AOU 青少年アドバイザー」資格取得促進。 ⇒アミューズメント施設配属社員総数272名中213名が取得 取得率：78% (取得率目標80%) + 「サービス接客検定」資格取得推進。 ⇒店舗配属社員取得率：87% (取得目標率95%) + 施設の安全性に関する点検を実施。 ⇒店舗安全点検を年2回実施 ⇒電気設備点検評価を計12店舗にて実施 + 食品衛生に関するマニュアル等を見直し。 ⇒販売食品マニュアルを年1回改訂 ⇒衛生ハンドブックを年1回改訂
映像音楽プロデュースSBU	商品の安全基準の取り込み		<ul style="list-style-type: none"> + 商品表示マニュアルを更新。 + イベント危機管理マニュアルを作成。 + 新作パッケージについて製造工程の立ち会いを毎月実施。
関連事業会社 (バンダイロジパル・ロジパルエクスプレス)	安全運転により車両事故を抑制し、貨物を遅滞なく届ける		<ul style="list-style-type: none"> + ドライバー研修を年5回実施。 + 点呼時の安全指導。 + ドライブレコーダーを全車に装着。 + 安全性優良事業所 (Gマーク) の維持。
関連事業会社 (アートプレスト)	生産・材料における安全・安心の製品提供		<ul style="list-style-type: none"> + 生産工程をフローチャートで管理。 + 生産工程上の品質管理を強化することを目的に、品質検査方法を精査し、不足部分について生産工場に指導を実施。 + 既存の使用資材および生産機械のデータベース化を完了。 + 新規資材について、企画段階および試作サンプル段階で検査を二重に行い、安全性の確認を徹底。

TOPICS ① 商品・サービスの安全と衛生

商品・サービスの安全・安心に関する展示会を開催

トイホビー SBU、ネットワークエンターテインメント SBUでは、より安全・安心な商品をお客様にお届けするため、グループ各社の社員を対象に、過去の製品不具合の発生事例やお客様の声に関する社内展示会や研修を行い、さまざまな情報を共有しました。



バンダイが「製品安全対策優良企業表彰 大企業製造事業者・輸入事業者部門」のゴールド企業に認定

経済産業省主催「製品安全対策優良企業表彰」の「大企業製造事業者・輸入事業者部門」において、バンダイが2008年度に「金賞」、2012年度・2015年度に「経済産業大臣賞」を受賞しました。これを受け、「大企業製造事業者・輸入事業者部門」で初となる「製品安全対策ゴールド企業」に認定されました。なお、バンダイナムコエンターテインメントも、2014年度にアミューズメント業界として初の「優良賞」を受賞しています。



namco梅田店が「大阪府青少年健全育成優良店表彰」を受賞

大阪府が、青少年にとって良好な社会環境づくりを進めるため、他の模範となる優れた活動を日常的に行っている営業所を表彰する「2015年度 大阪府青少年健全育成優良店表彰」において、ナムコが運営するnamco梅田店が2006年度に続き、2度目の受賞を果たしました。



CSR 重要項目 ② 環境配慮

SBU	重点取り組みテーマ	進捗状況	2015年度活動報告
トイホビー SBU	Act. Now For Future Smiles 笑顔のためにできること		<ul style="list-style-type: none"> + 環境配慮設計、資源リサイクル、ユニバーサルデザインに関する分科会を隔月開催し、ワークショップや体験会を実施。 + 環境広報を充実（イベント出展、小学校出前授業、Facebookでの情報発信など）。 + 環境配慮設計の実例を分科会で収集、ガイドラインを刷新し、「エコメダル」を制定。
ネットワークエンターテインメント SBU (コンテンツ)	環境配慮設計および環境啓発活動の推進		<ul style="list-style-type: none"> + 環境配慮設計「エコアミューズメント」を積極的に推進。 ⇒ 認定製品が累計32機種に増加 + 廃棄製品のマテリアルリサイクルを実施。 + メールマガジンや社内掲示等を通じて社員向け環境教育を推進。 + 環境広報を充実（イベント出展、WEBサイトの拡充等）。
ネットワークエンターテインメント SBU (アミューズメント施設)	省エネ施策		<ul style="list-style-type: none"> + 新規に導入した照明設備にLEDを積極採用。 + 使用電力量の見える化、COOLBIZ、WARM-BIZ、NO残業DAYの実施により社員の環境意識を啓発。
映像音楽プロデュースSBU	環境配慮の実施		<ul style="list-style-type: none"> + 仕掛品および商品在庫の余剰分について、リサイクル処分を実施。
関連事業会社 (ハンダイロジナル・ロジナルエクスプレス)	車両より排出するCO ₂ の抑制と事業所の節電によるCO ₂ 排出の抑制		<ul style="list-style-type: none"> + 車両代替時の低公害車の導入。 + エコドライブ活動継続による平均燃費の維持。 ⇒ 5.3km/Lの維持 + 事務所・倉庫の不要照明消灯による節電継続。

TOPICS ② 環境配慮

「エコプロダクツ2015」に出展

日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2015」にバンダイナムコブースを出展し、「くまのがっこう」、「ガンブラ」、「太鼓の達人」の3つのIPを軸に、パネルや商品展示、ステージイベントなどを通して、バンダイナムコグループのCSR活動を紹介しました。



環境配慮設計「エコアミュージメント」

バンダイナムコエンターテインメントは、国内で販売する業務用ゲーム機を対象とした「環境配慮設計ガイドライン」を設け、一定レベルをクリアした製品を「エコアミュージメント」として認定しています。2015年度は「シンクロニカ」など、新たに10機種を認定し、累計32機種となりました。

認定製品「シンクロニカ」





「エコドライブ活動コンクール」にて優秀賞を受賞

バンダイロジバルおよびロジバルエクスプレスは、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団主催の「2015年度 エコドライブ活動コンクール」に参加し、優秀賞を受賞した船橋営業所を含め、参加した計11の営業所すべてが賞を受賞しました。バンダイロジバルおよびロジバルエクスプレスは、同コンクールへの初参加以来、連続受賞を果たしており、その実績から、各地で事例紹介等の講演を行うなど、エコドライブ活動普及のためのサポートを行っています。



授賞式の様子

CSR重要項目 ③ コンテンツや商品の表現における社会への影響とポリシー

SBU	重点取り組みテーマ	進捗状況	2015年度活動報告
トイホビー SBU	コンテンツ・商品における倫理表現の統制		<ul style="list-style-type: none"> + 倫理に関する各研修の実施。 ⇒ 新人研修のほか、バンダイ5事業部の社員や協力メーカー向けにも研修を実施 + 商品における倫理観、他社事例や社内事例を蓄積し、倫理判断基準の随時見直しを実施。 + グループ倫理座談会を年2回実施し、倫理判断事例を共有。
ネットワークエンターテインメント SBU (コンテンツ)	適切な倫理表現への取り組み		<ul style="list-style-type: none"> + ネットワークエンターテインメントSBU各社共通のCSR重点取り組みテーマとして「コンテンツの適切な表現の管理」を掲げ、取り組みを推進。 ⇒ SBU内で倫理表現の情報共有を目的とした分科会を実施し、倫理表現の最新情報を共有 ⇒ 社員向け説明会開催、メールマガジン配信等、倫理表現に関する社員向け教育を実施 ⇒ 倫理表現に関する専用窓口設置
映像音楽プロデュースSBU	表現や用語における倫理チェック		<ul style="list-style-type: none"> + 倫理的表現について、2部門による多重チェックを実施。 + 倫理や表現（差別用語・放送禁止用語・歴史問題・地域問題）に関する社内研修の実施および社外研修への参加。

TOPICS ③ コンテンツや商品の表現における社会への影響とポリシー

倫理表現に関する研修の適時実施および情報の集積・共有

各SBUにおいて、倫理表現に関する各種研修を実施するとともに、さまざまな事例や最新情報を集積し、適切な表現のもと商品・サービスの提供が行えるよう、社内共有を推進しました。



研修の様子

CSR重要項目 ④ サプライチェーン管理

SBU	重点取り組みテーマ	進捗状況	2015年度活動報告
トイホビー SBU	労働規範監査 (BFA監査)		<ul style="list-style-type: none"> + バンダイ商品を生産する海外最終梱包工場すべてに対して監査を実施。 ⇒ 累計169社実施 + キャラクター情報規制がある版權元の商品を生産する工場のサプライチェーン管理強化。 + 東京、深圳、上海の3会場でサプライヤーカンファレンスを実施。
ネットワークエンターテインメント SBU (コンテンツ)	国内外における適切なサプライチェーン管理		<ul style="list-style-type: none"> + 国内外サプライヤー向け説明会を開催。 + 国内外の最終アッセンブリー工場を対象に、製品含有化学物質管理システム、品質マネジメントシステム、就労環境等に関する工場監査を実施。 + 取引先との効率的な情報共有を目的にサプライヤー専用サイトを設け、最新情報を適時発信。
映像音楽プロデュースSBU	サプライチェーン管理の実施		<ul style="list-style-type: none"> + 工場監査強化のため、工場監査チェックリストを作成。
関連事業会社 (バンダイロジカル・ロジカルエクスプレス)	一貫物流サービスの展開		<ul style="list-style-type: none"> + AEO通関業者資格を維持。 + プライバシーマークを維持。 + 海外において新規サービスを9件展開。
関連事業会社 (アートプレスト)	生産現場における安全・安心		<ul style="list-style-type: none"> + 工場内の環境整備を継続。 ⇒ 工場監査を年4回実施 + 新規商材について社内におけるデザインレビューを強化し、不備発生を未然に防止。

TOPICS ④ サプライチェーン管理

工場監査・各種審査の実施

バンダイナムコエンターテインメント（BNE）では、国内外の取引先工場において、「製品に含有する化学物質の管理体制とその運用の有効性」、「品質マネジメントシステム」、「工場ラインの生産管理体制」、「就労環境」等の確認項目について監査を行う「BNE サプライヤ監査」を実施しました。

また、バンダイでは、バンダイ製品を生産するすべての海外最終梱包工場にて、「新規工場監査」と「COC」監査を一元化した「BANDAI Factory Audit」(BFA)を実施しました。

*COC：Code of Conduct（行動規範）



サプライヤーとの取り組み強化

バンダイ、バンダイナムコエンターテインメント、パンプレストでは、それぞれサプライヤーとのカンファレンスの実施や、取引先専用サイトを設けて基準改定などの最新情報を発信するなど、取引先とともに法令遵守、環境配慮に取り組んでいます。



サプライヤーカンファレンスの開催（バンダイ）



取引先専用サイト（バンダイナムコエンターテインメント）